

頭張れ店長

セクハラ・パワーハラ

都議会や国会で女性議員に対するセクハラ野次が問題になりましたが、みなさんの職場はどうでしょうか。ちなみに、セクハラはセクシャル(性的な)・ハラスメント(嫌がらせ)の略です。似たもの上司の部下に対するパワー(権力)・ハラスメント(パワーハラ)があります。各地の店長さんに聞きました。

つい「バカ野郎」と怒鳴り

「パワーハラやセクハラは会社のコンプライアンス委員会から厳に慎むように言われていますが、私は口が悪いので、『バカ野郎、そんなこともわからないのか!』と怒鳴ってしまうことがあります。またやってしまったと思いつつ、頭を冷やしてから、『さっきは言い過ぎた。ゴメン』と謝ります。本社にはパワーハラ・セクハラ相談窓口があって、被害者は訴え出ることができませんが、まだ私は呼び出されたことがないので、部下たちは大目に見てくれているようです」

(中部・A店長)

人前で上司が部下を「バカ野郎」と叱責するのはパワーハラの可能性がありますが、A店長の場合には単なる口癖と受け止められているのかもしれない。

名前出さずに注意喚起

「この業界は昔、木槌で頭を叩かれたとか、パチンコ玉を入れたバケツを両手に下げて立たされたといった体罰もあったと聞きますが、そんなことを今の時代にやれば、若い連中はすぐに辞めてしまいます。たとえ手を出さなくても、厳しく叱つたら、翌日に無断欠勤して、そのまま辞めたという話もあります。私の場合は、怒鳴りたくてもその場はこらえて、ミーティングで名前を出さずに、こんな失敗があるので、同じ過ちを繰り返さないようにという言い方をします。その代わり、ファインプレーをしたスタッフは名前を出して誉め、皆で拍手を贈るようにしてい

ます」(関東・B店長)

その場で叱って終わりにするのはなく、失敗を皆で共有して教訓としようというわけです。

言われてイヤな「言葉」

「セクハラは、言われた人が『これってセクハラじゃないの?』と受け止めたらセクハラになるそうです。そこで朝礼などで、女性スタッフにどんな言葉がセクハラになるかあげてもらったことがあります。すると『女らしくないなあ』『それでも化粧しているの?』『今日は化粧が濃いね。デー卜なの?』『早くいい男を見つけないよ』『おっ、色っぽいな』など、実際に言われた例としてあがりました。何気ない言葉でも、言われる側は心に傷を負うようです。

同僚の男性スタッフがはっきり聞いていました。それ以来、女性スタッフにかける言葉に気をつけているようです」(関東・C店長)

好意を抱いている男性から言われると嬉しいのに、他の男性から言われると「気持ち悪い」と受け取られるのがセクハ

店長からの投稿

うちの店は

休憩室の一角に健康コーナーを設

けて身長計、体重計、血圧計、握力計を置き、

身長に応じた体重・血圧・握力の標準値を表示しています。

中高年の方は健康が気になるようで、計測していく人が多いです。中には専用の手帳を用意して、計測結果を記入しています。

面白いのが血圧で、大当たりが出た日はいつもより数値が高くなるそう

です。何かで読んだのですが、リーチがかかっているときが一番血圧が上がるようですが、その余韻が続いているのでしょうか。常連さんは「大当たりが続くと血圧が上がって、ぼっくりいくかも」と笑い話にしています。健康コーナーをもう少し拡張して、ハンドグリップ(握力を鍛える)やダンベル、自転車室内トレーニングマシンも置こうかと考えています。(関東・店長)

健康コーナー設置 大当たりすると 「血圧が上がるよ」

ラ言葉です。不用意に人を真似ると評価を落とすかもしれません。

お客に「イエローカード」

「指導が及ばないのが男性客。女性スタッフには、体を触られる、卑猥な言葉をかけられる、電話番号を教えろと迫られるなどしたときは、毅然と拒否して必ず上司に報告するように指導しています。報告を受けた上司は、加害男性

に対して注意して1枚目のセクハラ・イエローカード(手書きの警告文入り)を渡し、2回目は退場(出入り禁止)になることを警告します。それが効いたのか、これまで2枚目(出入り禁止)をもらった人はいません」(中国・D店長)

セクハラを女性スタッフに「きみにもスキがあったのではないか」と咎めるのはタブー。きちんと対処してほしいものです。

惨状「さわるわ、なめるわ」

「女性スタッフに、お客様から受けたセクハラをあげてもらったことがあります。手の甲にキスをされた耳たぶをなめられた、携帯電話と一緒に写真を撮ろうと迫られた、帰宅するときに後をつけられた、ドル箱を替えるときにお尻を触られた…など、出るわ出るわ。その際の対応が、大半が無視するというものでしたが、店として対応するのでも上司に報告するよう指示しました。報告を受けると、私かマネージャーが、二度とやらないと誓約書を書かないと、防犯カメラの映像があるので強制わいせつで告訴することを伝えます」(中部・E店長)

開き直る後輩が心配

「私の部下のマネージャーがパート

に対して厳しく叱責することがあり、それで辞めるといったことが何回か続きました。私が見かねて注意すると、『根性のない奴はさつさと辞めたほうがお互いのためだ』と開き直ります。『そんなやり方では誰もいなくなるぞ。改めなければ本社に報告して配置転換してもらおう』と申し渡しました」(中部・F店長)

部下の監督も店長さんの仕事。問題の部下がいると気が休まる暇がありません。

「店長事件」でギクシヤク

「お恥ずかしい話ですが、私の店の前任の店長がセクハラというか、痴情のもつれで飛ばされました。確度の高い噂によると、女性の部下と深い仲になり、妻と離婚して一緒にになると約束したのにいつまでも離婚しないので、女性が業を煮やして本社の人事部に訴えたようです。そんな経緯があつて、いまや全社的にセクハラ注意報が流されている状態で、男女スタッフの間でギクシヤクした雰囲気です」(関東・G店長)

パワハラ・セクハラは個人の問題と受け止められがちですが、会社という組織の問題として捉え直す必要があるようです。